

トップバリュ フェアトレードの歩み

「イオン21キャンペーン（2001年10月～2006年まで計6回の第2回/応募総数約22万件）※」にて、「日常生活を国際貢献と繋ぐパイプ役をイオンが担って欲しい」というお客さまの声より、国際フェアトレードラベル機構（現在のフェアトレード・ラベル・ジャパン）に参画。開発に着手。



国内初、国際フェアトレード認証取得果汁飲料「トップバリュ フェアトレード濃縮還元オレンジジュース100%」を発売。



アジアで初めて「国際フェアトレード認証調達プログラム(カカオ)」に参加。2020年までに認証カカオ豆の取引量を2012年度比10倍(58トン)目標を掲げる。同年、国際フェアトレード認証と有機JAS認証のW認証チョコレートを直輸入し、発売。



コーヒーとカカオの持続可能な調達の推進リリース内にて、「カカオ調達に関する覚書」発表。
国際フェアトレード認証の紅茶（うち、1品は「有機JAS認証」のW認証）、「トップバリュ グリーンアイオーガニック」より「オーガニックフェアトレードコーヒー」発売。



国内プライベートブランド初、国際フェアトレード認証取得切り花を発売。

2002年

2008年

2014年

2021年

2025年

現在

2004年

2010年

2018年

2023年

大手小売業初の国際フェアトレード認証取得。「トップバリュ フェアトレードコーヒー」を発売。



日本初、国内製造フェアトレード認証チョコレート「トップバリュ フェアトレードチョコレート」（48グラム）」を発売。その後、中央大学フェアトレード学生委員会「FACT」のみなさまの協力で学生からパッケージデザインを募集しデザイン変更をしました。また、「トップバリュ ギフト フェアトレードチョコレート」を発売。



2012年比でフェアトレード認証カカオの調達量を10倍にするという目標を達成（60トン）。

第1回フェアトレード・ジャパンアワード総合大賞 受賞。同年、「トップバリュ フェアトレード カカオトリュフ」直輸入し、発売（秋冬限定商品）。



現在ではコーヒー、チョコレートその他、紅茶などカテゴリーを拡大中です。小売企業のプライベートブランドとして、国内最多のフェアトレード商品を手掛けています。

※2001年ジャスコからイオンに社名変更した際、21世紀にふさわしいビジネスモデルを構築するためにお客さまや従業員から「理想とするイオンの姿」について提案を広く募集したもの